

不動産業業況等調査（平成29年7月）*1

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	24.2 p	0.7 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 1.6 p	10.7 p ↑
ビル賃貸業	6.5 p	△ 1.8 p ↓

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 3.1 p	2.8 p ↑
不動産流通業（住宅地）	△ 2.4 p	5.3 p ↑
ビル賃貸業	△ 10.9 p	△ 17.2 p ↓

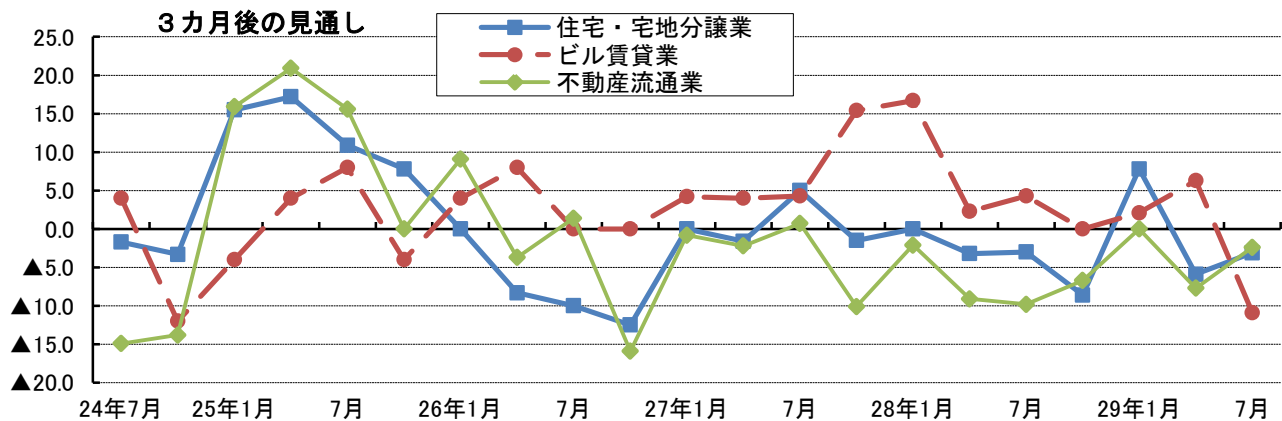
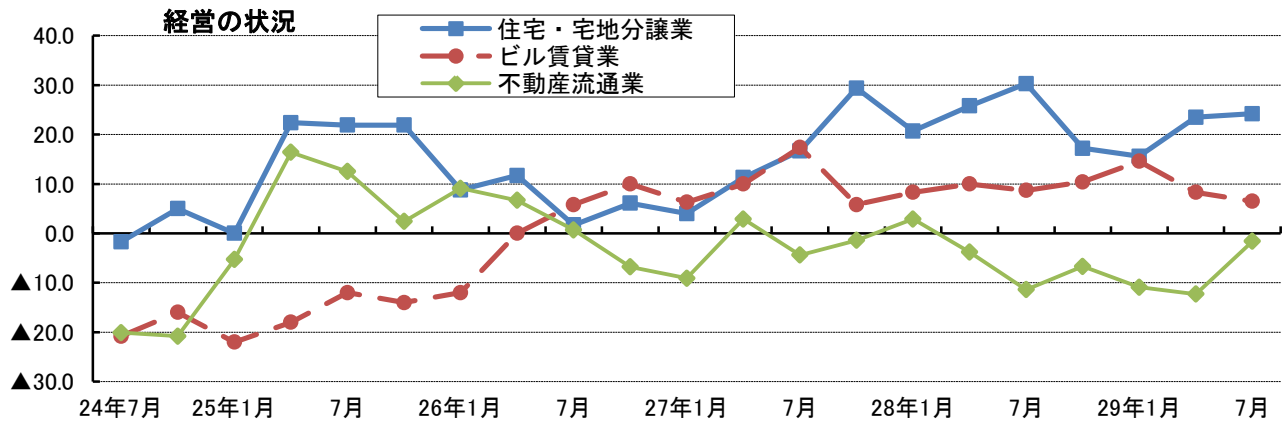
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から0.7p改善し24.2p。18期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から10.7p改善し△1.6p。6期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から1.8p悪化し6.5p。13期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業および不動産流通業で改善、ビル賃貸業で悪化。ビル賃貸業は15期ぶりにマイナス水準に転じた。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」